

# 知仁会だより



## 理念

- ・私たちは、患者様を身体面・精神面・社会面の三つの軸でトータルに理解し、治療と支援を行います。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、患者様への接遇やサービスの向上と医療の安全に尽くします。
- ・私たちは、患者様の個人情報保護と企業情報保護に全力で取り組みます。
- ・私たちは、良質で効率的な医療・看護・介護・リハビリ・福祉サービスを目指します。
- ・私たちは、健全な病院経営を行います。
- ・私たちは、知仁会の施設サービス・在宅サービスを通じて一生をあたたくお世話します。  
(ターミナルケア実施)
- ・私たちは、地域社会と連携し、地域社会への貢献に努力します。
- ・私たちは、障がい者の人権を擁護し、差別と偏見の解消に努めます。
- ・私たちは、仕事の意義と組織の一員であることを理解し、知仁会に誇りを持ち、より向上するために支え合って働きます。

## 患者様の権利勲章

- ・個人として、その人格を尊重し、最善の医療を公平かつ安全に受ける権利があります。
- ・病気、検査、治療、リハビリなどについて十分な説明を受ける権利があります。
- ・患者様の個人情報、及びプライバシーは保護されます。
- ・転医、転院等を希望する場合は必要な情報を提供します。また、他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関への紹介を受ける権利があります。(セカンドオピニオン)
- ・診療情報の開示を推進し医療の透明性の確保に努めます。
- ・良好で快適な療養環境のもとに医療を受ける権利があります。
- ・精神科医療においては、精神保健福祉法に準拠した施行がなされます。
- ・良質な医療を実現するために、患者様ご自身の健康に関する方法を出来る限り正確・迅速に知らせる責務があります。
- ・患者様自身が納得できる診療を受けるために、医療に関する説明についてよく理解できなかったことについて、よく理解できるまで質問をする権利があります。
- ・すべての患者様が快適な環境で医療が受けられるよう、病院内のルールやマナー、職員の指示をお守りいただく義務があります。

## 理事長挨拶

医療法人社団 知仁会 理事長 石井 知行

### 男女共同参画について

日本精神神経学会の理事を務めていた2014年頃、学会の女性会員は、全会員の24%、代議員会の代議員3%、理事会の理事0%でした。さらに、他の基幹医学会における女性理事も0%でした。

SCIENCE (2010) という雑誌に女性の Social sensitivity が高いため女性数の多い集団の方が集団知能が高いことに有意の相関がみられると述べられている論文を読みました。そして、女性の業績に対する貢献は世界的に企業においては共通認識となりつつあり特にアメリカにおいては顕著でした。このため男女共同参画推進委員会を立ち上げ、精神科関連60学会・団体の賛同を得て男女共同参画推進宣言を記者会見を行って公表しました。さらに、内閣府男女共同参画局の男女共同参画課長を読んでレクを受け、学会における女性代議員・理事の登用についてのポジティブアクションによるスキームをつくり、このスキームの法的妥当性について法制局に相談し検討しました。学会理事会においてこれを提案しましたが、当時は次期尚早との結論となりました。しかしながら、その後、このスキームにより2021年2月に49名(代議員の26%)の女性代議員が選出され6月には4名の女性理事(理事会の17%)が選出されました。約120年の本学会活動の中でも大きな変革でした。

これは学会における進歩ですが、世の中は進んでいないように見えて確実に、少しずつ進んでいることを感じているこの頃です。

## 🎃 10月の院内行事予定

日時	行事名	主催	内容	場所
12日(水) 20日(木)	ワーカー研修会	教育委員会 医療安全管理委員会	別館3階が担当となり、「ノロウイルスについて」というテーマで研修を行いました。	メープルホール
26日(水)	知仁会研修会	教育委員会 医療安全管理委員会	今月は河内Dr.が担当となり「医の倫理及び法令遵守(プライバシー保護・虐待防止法等含む)」というテーマで研修を行います。	メープルホール
5日(水) 19日(水)	摂食機能専門職講習会	ST 医療安全管理委員会	新入職員・未受講者対象	言語聴覚療法室
-	摂食機能専門職講習会	ST 医療安全管理委員会	「修了証」更新者対象 ※自己分析シート実施 講習はなし	言語聴覚療法室

## 🎃 10月の実習・研修予定

日程	場 所	研修・実習内容	施設名	人 数
9月12日(月)～10月4日(火)	PT	臨床評価実習Ⅱ	広島都市学園大学	1人
9月26日(月)～9月30日(金)	OT	地域実習(見学)	広島大学	1人
9月26日(月)～11月12日(土)	PT	臨床評価実習Ⅱ	広島国際大学	1人
10月3日(月)～10月28日(金)	医局	研修医	JA広島総合病院	1人
10月31日(月)～11月25日(金)	医局	研修医	JA広島総合病院	1人

### <知仁会研修会のご案内>

教育委員会

## 「精神療法を科学する」

11月2日(水) 16:00～17:00にメープルホールで知仁会研修会を行います。今回は広島大学大学院医系科学研究科 精神神経医科学 教授 **岡本 泰昌** 先生に講師となって頂き、「精神療法を科学する」というテーマで研修を行います。

コロナ禍でしばらく断念していましたが、今回は久しぶりに外部の先生をお招きしての研修会を開催する予定です。職員一同、岡本先生のご講演を楽しみにしております。

## 「第10回 広精協学会」

「新型コロナウイルス感染症におけるクラスターが発生した  
介護老人保健施設職員への心理的介入の試み」

優秀賞

公認心理師 崎山 美由希  
医師 石井 伸弥  
公認心理師 福原 彩香  
公認心理師 藤本 彩

9月号の知仁会だよりでもご紹介させて頂きました「第10回広精協学会」を、令和4年10月6日に広島市医師会館にて開催致しました。当院からは心理科の崎山が発表し、優秀賞を受賞することができました。今年度は広島県精神科病院協会所属の病院から12題の演題が集まりました。様々な分野の演題を見聞することができ、大変有意義な学会となりました。より良い医療・介護の提供のため日々の業務の中で課題やその解決策を見だし実践するとともに、来年度以降も当院から発表者を選出し、取り組みの共有をさせて頂きたいと思っております。



# 広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

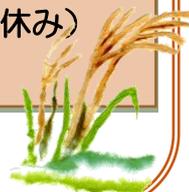
認知症に関するお困り事の相談（専門医療相談）  
 受診のご予約  
 認知症の診断・治療  
 認知症初期集中支援チーム

介護保険代行申請  
 介護予防ケアプランの作成  
 地域の健康作り・情報発信  
 認知症カフェ オレンジカフェいこか！ 等



専門医による鑑別診断及び専門外来  
 月曜日～木・土曜日（金・日祝祭日休み）  
 9：30～12：00（※予約制）

電話相談・受診のご予約  
 月曜日～土曜日（日祝祭日休み）  
 8：30～17：30



☎ 0827-57-7461（直通）

## 認知症サポーターが増えています♪

### 初 大竹市立図書館にて開催！ ～9/21アルツハイマーデー企画～

アルツハイマーデーでもある9月21日（水）、大竹市立図書館にて認知症サポーター養成講座を開催しました。大竹市立図書館での開催は初めてでしたが、開催前にはポスターの掲示やチラシの設置をさせていただき、図書館内には時事展示として出入口付近に約1か月間認知症のブースを設けていただきました。100冊程展示されていたとのことですが、開催日までに半数程が貸し出しされている状況であり、住民の方の関心の高さが感じられました。

講座の対象は大竹市在住の方・大竹市内に勤務している方で、14名のご参加がありました。うんうんと頷きながらメモを取られ、自分事として話を聞かれています様子が見受けられました。公認心理師より心理検査の紹介、体験を行う時間では、実際に取り組まれることでご自分の気づきの場にもなっていたようです。司書の方からは認知症に関する絵本や児童書、小説、体験記等をご紹介いただき、参加された方から「自分で読みたい」「家族に読み聞かせたい」等のご意見が聞かれました。図書館で開催させていただくことで、本を通してより多くの知識、発見を得ていただけたのではないのでしょうか。



認知症に関する時事掲



図書を紹介



当日の様子

### シルバー人材センターにて開催！

9月28日（水）、おがたピアにてシルバー人材センターの方を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。認知症やその予防方法について強い関心を持たれており、どのようにすれば認知症にならないか、食事は何を食べればいいのか等、多くのご質問をいただきました。また参加、聴講したいとお声もいただき、サポーター養成講座を修了した方を対象とした「認知症ステップアップ講座」も、今後、是非受講いただければと思います！

私個人は親切に対応してあげたいと思います。私は認知症にならないぞ！

日記を書いています。これからも続けます。



質疑応答の時間が長く参考になった。

また参加、聴講したい。

# 令和4年度 広島県認知症疾患医療センター合同WEBセミナー

## 「認知症予防のための多因子介入研究(J-MINT)～社会実装を目指して～」

【共催】 広島県認知症疾患医療センター(医療法人社団和恒会ふたば病院、医療法人大慈会三原病院、医療法人微風会三次神経内科クリニック花の里、医療法人社団せがわ会千代田病院、医療法人社団緑誠会光の丘病院、医療法人永和会下永病院、医療法人社団二山会宗近病院、医療法人社団知仁会メープルヒル病院)／東和薬品株式会社

【後援】 広島県／広島県病院協会／広島県精神科病院協会／広島県精神神経科診療所協会／広島県精神保健福祉協会／広島県医師会／一般社団法人広島市医師会／広島市中区医師会／広島市東区医師会／広島市西区医師会／広島市南区医師会／広島市佐伯区医師会／呉市医師会／福山市医師会／尾道市医師会／三原市医師会／因島医師会／大竹市医師会／安芸地区医師会／佐伯地区医師会／安佐医師会／安芸高田市医師会／山県郡医師会／賀茂東部医師会／東広島地区医師会／竹原地区医師会／世羅郡医師会／松永沼隈地区医師会／深安地区医師会／府中地区医師会／三次地区医師会／庄原市医師会／岩国市医師会／玖珂医師会／広島県薬剤師会／広島県介護支援専門員協会

【挨拶】 広島県精神科病院協会 会長 石井 知行 氏

【座長】 広島大学大学院医系科学研究科 共生社会医学講座 特任教授 石井 伸弥 氏

【講師】 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 研究所



所長 櫻井 孝 氏

令和4年9月29日(木)、令和4年度広島県認知症疾患医療センター合同WEBセミナーを開催しました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のためWEBにて配信し、県内各地よりご参加いただきました。今回は、国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 研究所 研究所長 櫻井 孝 氏に講師となつていただき、「認知症予防のための多因子介入研究(J-MINT)～社会実装を目指して～」と題してご講演を賜りました。

認知症予防のための多因子介入研究(J-MINT)とは、65～85歳の軽度の認知機能低下(MCI)を有する方に対し、18か月間にわたり多因子介入(生活習慣病の管理、運動、栄養指導、認知トレーニング)を行い、認知機能障害の進行が抑制されるかを検証するものです。対照群へは、2ヵ月に1回の健康情報の提供と生活習慣病の管理をし、6ヵ月毎に評価をします。介入群へは、タブレット貸与、リストバンド型活動量計・モニタリング用のファイルが配布され、生活習慣病の管理、運動指導プログラム(現地で実施:1回90分/週を18か月、ホームエクササイズ:週2～3回、身体活動のセルフモニタリング)、栄養指導(面談1回60分、電話4回を6ヵ月毎に3クール)、認知トレーニング(タブレットを用いた「Brain HQ」)が実施されました。介入により明らかになった課題としては、①MCIでも認知機能・身体機能の幅が大きい②参加者とスタッフとの関係性が大切③MCIを指導できる人が少ない④コロナ禍でICTを用いた指導の有用性を実証の4点が挙げられました。研究の成果は、認知症予防に向けた社会実装の端緒となる上、高齢者の健康寿命延伸、生活の質改善、認知症推進施策大綱の実現、医療水準の向上、医療経済に寄与することが期待されています。

認知症予防とは、発症を止めることではなく発症や進行を遅延させることです。MCIの段階では可逆性があり、10～41%が前臨床期へ改善することがあります。しかし、一度認知症へ進行すると改善することはありません。セミナーの中で紹介された認知症の危険因子や予防につながる事項について一部ご紹介します。

- ・アルコールの過剰摂取は男女ともに認知症が増加すると言われ、アルコールを過剰摂取する人は、飲酒しない人より明らかに認知症のリスクが高くなる。
- ・社会との関わりを維持することは脳の予備能を高める。
- ・歩行能力の低下はMCIや認知症のリスク因子の一つ。歩行速度はMCI発症の5～15年前に急激に低下。
- ・運動は仲間と楽しく継続して行うことが大切で、60分/日を週2～3回、半年以上続けることが必要。
- ・中年期肥満は認知症のリスクとなり得るが、高齢期の肥満は認知症を抑制する。中年期はメタボリックシンドロームを抑える食生活、高齢期には低栄養を避ける。

質疑応答では、参加者からの質問に丁寧にお答えいただき、学びの深い時間となりました。今後も皆様にとって有意義な研修会となるよう努力して参ります。



## 自殺に関する報道の影響力について (2)

精神科医師 野見山 敏之

以前にも取り上げたことのあるテーマです（平成 27 年 12 月の「知仁会だより」）。

その時に「メディアがどこまで遵守できているか、皆でしっかりと監視していくことが大切だと思います」と書かせてもらっていたので、今回もう一度触れてみることにしました。

というのも、最近また著名人の自殺に関する一部メディアの報道・放送で問題があるのではないか、と思われることがあったからです。

メディアがしてはならないこととして、下記のようなことなどがあげられています。

- ・自殺の「手段」を報じる
- ・自殺で亡くなった方の自宅前等から中継を行う
- ・自殺で亡くなった場所（自宅）の写真や動画を掲載する
- ・街頭インタビューで、市民のリアクションを伝える

以下、WHO「自殺対策を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識 2017 年版」より

- ・報道を過度に繰り返さないこと
- ・自殺に用いた手段について明確に表現しないこと
- ・自殺が発生した現場や場所の詳細を伝えないこと
- ・センセーショナルな見出しを使わないこと
- ・写真、ビデオ映像、デジタルメディアへのリンクなどは用いないこと

なぜ上記のようなガイドラインがあるのかというと、自殺に関する報道の影響力は非常に大きく、特に若い人への影響が強いと考えられているからです。影響を受けた人の自殺リスクを高めてしまうようなことがあってはなりません。

「厚生労働省、『自殺報道ガイドライン』に反する報道・放送が散見されることを踏まえ、再度の注意喚起（令和 4 年 5 月 11 日に逝去された著名人の報道に関して）」

人命に関わることであり、厚生労働省が早い段階でかなり厳しい声明を出すような状況となってしまいました。

メディアの報道の仕方には今後も引き続き注意が必要だと思われます。

## ＜知仁会研修会報告＞ 「医薬品の安全管理」

医療安全管理委員会  
医薬品安全管理委員会  
教育委員会

令和 4 年 9 月 22 日（木）、メープルホールにて知仁会研修会が行われました。今回は、薬剤師の伊藤知也氏が講師となり、「オミクロン株について」というテーマで研修会を行いました。また続けて、放射線科の片山医師が講師となり、「放射線診療従事者に対する研修」というテーマで研修会を行いました。

薬剤師の講演では、オミクロン株の特徴について学びました。オミクロン株は、肺ではなく上気道で炎症を起こしやすいことが判明しています。その結果、肺炎になりにくいため、重症化しづらい事が特徴として挙げられます。

放射線科の講演では、放射線診療に関する基本的知識、放射線診療を受ける患者様への情報提供の在り方などについて共有しました。

職員一同大変学びが多く、改めて今後の業務に活かしていきたいと思っております。





## 園芸療法②

リハビリテーション科 作業療法士 坂本 昌徳

当院では『精神療養病棟』での精神科作業療法、『療養病棟』等での個別リハビリテーションにおいて園芸療法を用いた介入を行っており、今回は目的の一部を紹介していきます。

### 1. 生きがいづくり（有用体験・達成感・季節や時間の感覚の回復）

入院生活の楽しみといえば、食事やおやつ、テレビ、お昼寝…など人それぞれあるとは思いますが。その中でも、園芸作業は季節や天気の移り変わりを感じながら屋外の新鮮な空気を吸い、それぞれの身体機能に合わせて種まきや草抜き、水やり、支柱立て、鍬で耕す作業など…適度に身体を動かし、野菜の成長を楽しみ、実際に収穫して調理し味わうことが出来る作業であり、日々の療養生活の中の生きがいの1つになればと考えています。

### 2. 運動不足の解消（新陳代謝増進・心身の賦活・身体自我感覚の回復）

入院されている患者様の生活は、食事や入浴、リハビリなどある程度スケジュールが決められています。自由な時間も多くあります。その中で自室に籠ったり臥床時間が多くなると運動不足になりがちです。園芸では、鍬などの道具を持って凹凸のある土の上を移動し、立位で畑を耕したり、しゃがんで草を抜いたるする動作で、歩行練習、上下肢の筋力トレーニング、バランス練習、協調運動などさまざまな運動を自然と行うことができます。

### 3. 仲間との交流（社会性の維持・自己の回想）

病棟スタッフとの会話は随時ありますが、同じ病棟で生活している患者様同士が交流をもつには何かきっかけが必要です。園芸作業中には、作業の役割分担を決めたり、自身の経験を他者に伝えたり野菜の成長を喜び合う等、自然と交流が生まれます。顔なじみの関係となれば『一緒に行ってみようか』等お互いに声を掛け合う場面が増え、活動性や意欲の向上にもつながっていきます。

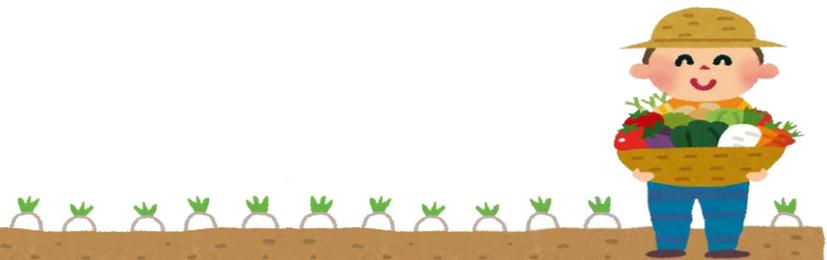


### 4. 生活能力の維持（自我解放・欲求充足）

コロナ渦となった現在ではなかなか難しいですが、以前は患者様と一緒に収穫した野菜を作業療法室で包丁等道具を使い手順を考え調理するといった在宅復帰への練習の場としても利用していました。現在はスタッフが調理を行い、試食会を行ったり、食事の時間に一品添えるという形でキュウリの漬物、ポテトサラダ等…病棟の患者様の食形態に合わせて提供するようにしています。



私たち作業療法士は、これからも患者様の日々の生活がより豊かになるよう支援していきます。



## ★医師のスタッフ数

	常勤医師	非常勤	医師合計数
精神科	5名	2名	7名
内科	3名	10名	13名
放射線科	1名	0名	1名
合計	9名	12名	21名 ※基準数9名
歯科	0名	5名	5名

## ★リハビリのスタッフ数

	リハビリスタッフ数 (非常勤)
理学療法士	11名 (5名)
言語聴覚士	3名 (0名)
作業療法士	10名 (1名)
合計	24名 (6名) ※基準数13名

## ★敷地内禁煙について

当院では敷地内での喫煙を健康増進法に従って禁止しています。喫煙につきましては、敷地外の所定の喫煙場所をお願い致します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## ★外来診療担当

認知症疾患医療センターで、もの忘れ外来も実施しております。

	月	火	水	木	金	土
精神科	石井 知行	野見山 敏之	石井 知行	野見山 敏之	河内 英基	岡村 仁
内科	佐々木 雅敏	佐々木 富美子	松尾 行雄	加藤 礼子		芹川 正浩
歯科	広大医師 第2月曜のみ	広大医師	広大医師	広大医師		
認知症疾患 医療センター	石井 伸弥 (初診)	石井 伸弥 (初診)	日野 亮真	日野 亮真		河内 英基

★診療時間：精神科 9:15～12:00・内科 9:30～12:00・歯科 9:15～12:00

認知症疾患医療センター 9:30～12:00 (予約及び緊急時は午後も診察します。)

★当院外来では、ヘリカルCT、腹部超音波検査を行っています。御希望の方は外来スタッフまでお申し出下さい。

※ヘリカルCT・レントゲン検査は午前中のみになりますのでご注意ください。

## ★地域連携室のご案内

★入院、退院、在宅サービス、施設見学についてのご相談、また、苦情、お困りごと、その他、ご質問等ございましたら、**地域連携室**までお気軽にご相談下さい。スタッフ一同、プライバシー保護を遵守しておりますので、患者様、ご家族様から知り得た情報は了解なしに第三者に開示されることは決してありません。ご安心してご相談ください。

★地域連携室の主な業務：入院相談・退院相談・入院生活や退院後の生活についてのご相談、医療福祉サービスや制度などのご案内・諸手続の援助等

地域連携室 (メープルヒル病院本館1階) 0827-57-7451

責任者：地域連携室 福原 啓司

## 個人情報保護に関する医療法人社団知仁会の基本方針

知仁会は常日頃より患者様・利用者様の視点に立ち、質の高い医療の実現とよりよいサービスの提供を目標として、診療業務を営んでおります。患者様・利用者様の健康状態に応じて迅速に的確な医療を提供させて頂くためには、患者様・利用者様に関する様々な医療情報が必要です。患者様・利用者様と確かな信頼関係を築き上げ、安心して医療サービスを受けて頂くために、患者様・利用者様の個人情報の安全な管理は必須です。知仁会では、下記の基本方針に基づき、医療情報の管理を行い、患者様・利用者様の個人情報保護に厳重な注意を払って参ります。

1. 個人情報保護に関する法律を遵守し、患者様・利用者様の情報を個人情報保護委員会で管理しています。
2. 診療及び病院の運営管理に必要な範囲においてのみ、患者様・利用者様の個人情報を収集しています。
3. 患者様・利用者様の個人情報への不正アクセス、紛失、改竄及び漏洩を防止し、安全対策を実施いたします。
4. 一部、検査等を外部の医療施設等に委託する場合があります。その際に、患者様・利用者様の情報をこれらの施設に知らせる必要のある場合があります。この場合、知仁会では、信頼のおける施設等を選択すると同時に、患者様・利用者様の個人情報が不適切に取り扱われないように契約を取り交わします。
5. 患者様・利用者様が継続的に良い医療を受けられるように、診療に関する情報を、病院、診療所などに提供する場合があります。また、ご本人様、ご家族様に事前に承諾をいただいたうえで、学会や研究等で医療の発展の目的として情報を利用する場合があります。
6. 患者様・利用者様の必要に応じて、診療情報を開示しています。しかし、最良の治療の継続に支障をきたすことが考えられる場合は、開示しないことがあります。
7. 知仁会では、患者様・利用者様の取り違えなどの事故を防ぐため、入院患者様・入所者様氏名を病室・療養室前に掲示しております。ご理解、ご協力をお願いいたします。名札の掲示についてご希望がありましたらお申し出ください。
8. 知仁会では、原則として面会制限は行っておりませんが、面会に関してご本人様、ご家族様の希望がありましたら病棟職員にお申し出ください。

### 医療法人 社団 知仁会

〒739-0651 広島県大竹市玖波5丁目2番1号

TEL 0827-57-7451

FAX 0827-57-5312

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>

### メープルヒル病院

広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・  
玖波地区地域包括支援・合併型センター  
地域活動支援センターみらい

### 介護老人保健施設ゆうゆ

ゆうゆ居宅介護支援事業所  
ゆうゆ訪問看護ステーション  
ゆうゆデイケア  
訪問リハビリテーション

#### <アクセス方法>

##### ■ JRご利用

広島駅から玖波駅40分  
玖波駅からバス・タクシー約5分/徒歩約10分  
(玖波駅西口から送迎バスを運行しております。  
送迎バスは玖波駅発9:30、12:35と  
なっております。)

##### ■ 山陽自動車道ご利用

大竹インターから約5分



### <患者様へお願い>

1. ご自身の健康に関する正確な情報をお伝えください。
2. わからないことがありましたら、ご納得いただけるまでご質問ください。

- メープルヒル病院、介護老人保健施設ゆうゆ、各社会復帰施設の紹介や知仁会から発行する広報誌、毎月の行事一覧、知仁会のサービス案内などを掲載しています。  
また、皆様からの質問・相談窓口としてホームページ上にご意見板を用意していますので、知仁会に関する質問や日常生活の様々な悩み・相談、また見学のお問い合わせ等ありましたら、お気軽にお尋ね下さい。
- 求人に関する情報もありますので、ご覧下さい。  
ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>
- 本誌に掲載されております写真等につきましては、ご本人あるいはご家族の了承を得て掲載させて頂いております。
- 知仁会だよりについてのお問い合わせ、ご意見は担当：濱浦・横山・福島までお寄せ下さい。